

Freude

vol. 7.27 2015.12.16 wed

皇太子はあひのほ み 勇気だ!!

大阪フロイデ合唱団 Tel 06-6358-2626
〒530-0041 大阪市北区天神橋2-1-18-4B
ホームページ <http://www.osakafreude.com>
メールアドレス info@osakafreude.com

--- というわけは? シューベルトのこと ---

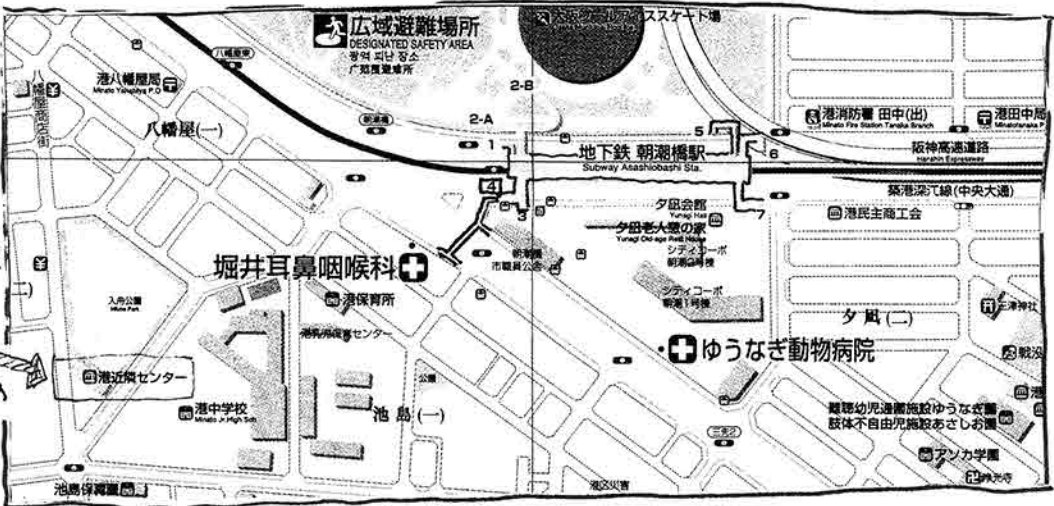
前回、コーファン気味のキーボーディスト「勝手なシューベルトミサ2番3番」コメントを書き散らかしたのですが、そうすると、シューベルトってどんな人? と思っちゃうので、今日は、シューベルトについて(^)

フランツ・ペーター・シューベルト (1797. 1. 31~1828. 11. 19 ウィーン)
厳格な学校教師家庭に 12 子として生まれました(全部で 14 人の子ども。うち 9 人が早逝)。父はアマチュア音楽家でもあり、フランツは父と長兄から音楽教育を受けましたが、7 歳の頃 2 人の手に負えない神童振りを発揮し始めたため、リヒテンタール教会の聖歌隊指揮者ミヒャエル・ホルツァーに指導を託されました。ますます才能を発揮し、11 歳でコンヴィクトの試験をパスします。

「コンヴィクト」とは、寄宿制神学校で、ウィーン楽友協会音楽院(現代のウィーン国立音楽大学)の前身の学校。そこで宮廷礼拝堂少年聖歌隊(1498 年設立。現在のウィーン少年合唱団)の一員として 17 歳の変声期まで在籍しました。(うらにっく)

お	12/23(水)	:	7/6(水)	:	1/13(水)
	13:15~	:	18:30~	:	18:30~
	港近隣中心	:	北巴瓦	:	北巴瓦

港近隣中心
地下鉄中央線
朝潮橋約分
4番出口から
徒歩約
歩いぬ。
入舟公園と
港中学校の向
おろし歩いぬ



1) コンヴィクト時代 (1808年~17歳の声変わり期で、辞めなきゃいけないとこまで。)

なんたって音楽の経験をいっぱい積みました。ヴァイオリンはトップクラスだし、オーケストラの指揮をしたり、モーツァルトの作品に出会う等 (シューベルトがベートーヴェンを尊敬し、ベートーヴェンの葬儀で棺をかついだのは有名ですが、実は、愛していたのはモーツァルトの音楽だった、というコメントもあるらしい!?)

そしてなによりも、生涯の友人たちに出会います!

2) 学校教師時代 (1813年 (17歳) ~1815年 (18歳))

コンヴィクトを辞めてプータローのフランツに、厳格な父は自分が校長である学校の教師になれっ!。兵役も避けたいし、教師養成学校の後に勤めたものの、イヤでイヤで!

悪ガキ相手に、作曲の時間も全然取れず、、、(――;)で、見かねた友人たちが、、、

3) シューベルティアーデ (19歳~31歳病没)

フランツの友人たちが、こんな才能のある人には思う存分作曲できる環境をつくってあげなくちゃ!と集まった!

フランツは学校教師をやめて、友人たちの支えで (住むところも、食事も、五線紙も!) 作曲をしたのです。新曲の発表は、まず、このシューベルティアーデで。歌曲が多いのも、この仲間の中にすばらしいバリトンが居たからとか。

31歳 (腸チフスとか水銀中毒など諸説あり) の超短い人生でしたが、めちゃめちゃ多作! 歌曲は600余曲、ほかに交響曲、ミサ、器楽作品 (ピアノ五重奏「ます」なんか有名) などなど。ちなみに「未完成交響曲」は、途中で亡くなったからではなく、多作ゆえに、途中で別の作曲にかかっちゃってほっとかれたから、ということらしい!?

う~ん! なんとも濃い人生でした。

ちなみに、今回とりあげるミサは、1815年の作品。18歳 \ (◎◎) / !

この年は、シューベルトにとっては、嫌いな教師生活からまだ抜け出しておらず、悩みもいっぱい、というとき。ただ、作品としてはあふれる才能が文字通りあふれた年とも言えます。

146曲の歌曲、中には「魔王」「野ばら」あり。一日で7曲作曲したこともあるらしい! ? 交響曲第2番第3番、合唱では「ミサ2番」「ミサ3番」。すごい豊作 (!) 年でした。

ミサ2番はたった6日間で作曲されたとか \ (◎◎) / ! だからかなあ、2番のほうが、なんかココロにもものすごくストレートに「きゅん」って来るの。3番のほうが「音楽を構成してるっ」って感じ。と、これはキーボードリストツブヤキでした~;

いずれにせよシューベルト様! 「ハーモニー」ってうつくしい! 「和音」ってすばらしい、と、ココロから思える、合唱やっててよかった! という出会いになることうけあい! の音楽です。これをうたわないなんて、人生の損だっ!

シューベルトの音楽はほんとに最高!!